

# はしもと

## 〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

## 〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します  
地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます  
常に新しく良質な医療ができるように心がけます  
皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

## 〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療
2. わかりやすさ



## 回復期リハビリテーション病棟

### 回復期リハビリテーション病棟での介護福祉士の役割

回復期リハビリテーション病棟には多くの専門職が働いており、その中の一つに介護福祉士がいます。介護を専門としており、専門的知識や技術をもって、日常生活のサポートを行います。特に回復期リハビリテーション病棟では、患者様の日常生活動作の練習を一番近い存在で手助けしています。朝夕の着替えや整容、トイレでの排泄、食堂やレストランでの食事、入浴等、患者様が行う動作をサポートします。



### 今回は排泄について説明します



その中でも排泄動作は、患者様が最も早く自立したいと思われる動作であり、セラピスト（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）や看護師らと情報交換をしながら、介護福祉士ならではの視点をもって対応しています。

例えば毎日の排泄チェック表を作成し、患者様の排泄パターンを把握し誘導を行ったり、どのような下着を着用すれば動作がしやすくなるか等を考えていきます。

また必要に応じて、夜間の評価も行い徐々にステップアップし、排泄の自立に繋がります。

介護福祉士は昼夜関係なく様々な場面で患者様のケアを行います。そのため患者様との距離も非常に近くなります。その分、患者様の思いをいち早く察知することができ、今何を必要とされているかを知ることができます。今後も、スタッフの一員として、患者様をサポートして参ります。



## 認知症治療病棟

### 認知症を知る

### “前頭側頭型認知症”について



#### 1) 前頭側頭型認知症とは

脳の前頭葉（人格や理性的な行動、社会性）と側頭葉（言語の理解や記憶の処理）が萎縮し、血流が低下する事で様々な症状が引き起こされる病気です。初期には物忘れよりも人格変化や非常識な行動が目立って見られます。

#### 2) 経過と症状：初期から行動の異常や人格の変化がみられ、経過によって出現する症状が変化します。

##### <初期>

- ① 自発性の低下
- ② 抑制がきかない
- ③ 食事や嗜好の変化
- ④ 感情の麻痺

##### <中期>

- ① 同じ事を繰り返す
- ② 立ち去り行動
- ③ 影響を受け易く反復する

##### <後期>

- ① 精神機能の衰退
- ② 寝たきり



#### 3) ケアのポイント

- ① 病気であることを理解する
- ② 症状の特徴を上手く利用する
- ③ 落ち着いて過ごせる環境を整える
- ④ 食事や行動の変化に柔軟に対応する
- ⑤ 出来る事は出来るだけ行ってもらう

買い物の際に計算ができない… 家が分からない… 最近、食事がすすまない… 認知症外来を受診される方の多くは、ご家族様の気付きによって判明するケースです。

当院外来では、**医師の診察**、**公認心理師による認知機能検査**を実施しています。早期の受診が認知症の進行を遅らせる重要なカギとなりますので、上記の症状に心当たりのある方はいつでもご相談ください。

## 外来

### 新型コロナウイルス感染症

人に感染する「新型コロナウイルス（SARS-COV-2）」  
《感染を拡大させないため、対策をしましょう》

感染経路 ➡ 新型コロナウイルス感染症がどのように感染するにかについては、現時点では、**飛沫感染**（ひまつかんせん）と**接触感染**（せつしよくかんせん）の2つが考えられます。

#### 飛沫感染

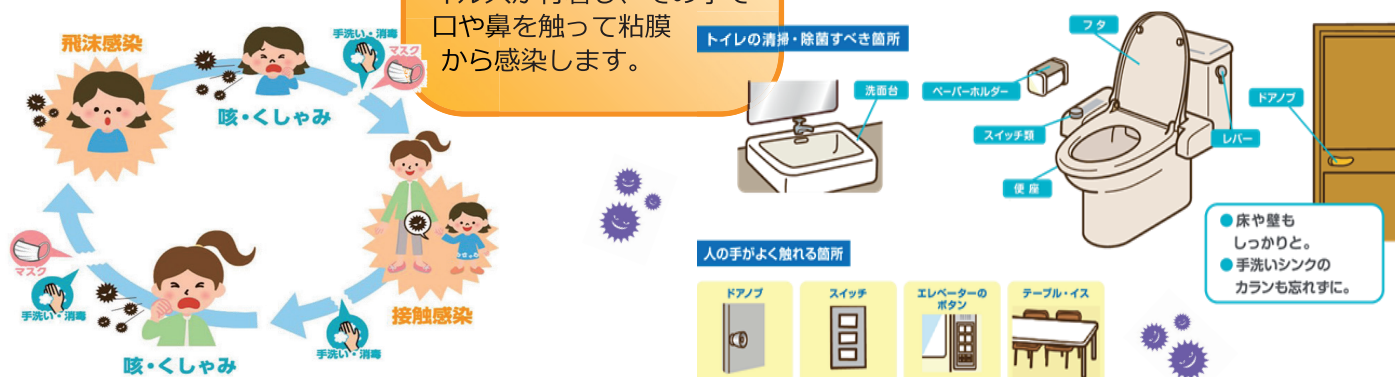
感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば）などと一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

#### 接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付きます。別の人がその物に触るとウイルスが付着し、その手で口や鼻を触って粘膜から感染します。

#### ～感染対策として～

手洗い、マスクの着用を含む咳エチケットが重要です！環境を清潔にして、集団感染を防ぎましょう。下図のように皆さんがよく触る場所も感染源となります。（消毒用アルコールや次亜塩素酸ナトリウム希釈したもの）などを使ってこまめに拭きとりましょう。



## 患者サービス委員会

### 患者サービス委員会の役割

病院内のあらゆる患者サービス向上のための具体案を検討、立案すると共にその決定により対策を実施することを目的としています。



患者サービス委員会では様々な取り組みを行っていますが、その中でも4つの取り組みを紹介させていただきます。

#### 体験入院

入院中の患者様の気持ちになり、患者様に何が必要であるかを実感するため疑似入院し、勤務中の接遇等に反映させることを目的としています。体験後は病棟内で話し合い、改善方法を検討します。

#### 患者満足度調査

医療サービス向上や患者様・ご家族様の意見を聴取し業務に反映させる事を目的としています。例えば病室の環境について意見をいただければ、どうすべきか話し合い、環境を整えるよう努めます。

#### 外来待ち時間調査

外来待ち時間の状況を把握し、短縮を図ることを目的としています。

- 受付時間から診察開始時までの待ち時間
- 受付時間から注射・点滴などの待ち時間 等

#### 療養環境整備

年に3回、普段日々の掃除で行わない部分（窓やレール部の溝、天井、コンセント回り等）を各部署内で協力して掃除を実施します。

何か気になる事やこうしてほしい等ご希望があれば遠慮なくお伝えください。今後もサービス向上に取り組めます！

## 通所リハビリテーションセンターはしもと

通所リハビリテーションセンターはしもとでは、新規ご利用者様を募集しています！

当センターでは、疾病などで失われた身体機能に対し、ご本人様・ご家族様のご要望を考慮の上、在宅生活における自立性の維持・改善を目的に、マンツーマンで理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等がリハビリを行います。

定期的な体力測定も行うため、運動効果が実感しやすい、楽しく効果的なリハビリを実施しています。

- ★個別リハビリテーション（20分または40分程度）
- ★集団体操（午前と午後の1日2回、1時間30分程度）
- ★口の体操（嚥下体操）（食事前に20分程度）
- ★口腔ケア（食後のケア）



**営業日** 月曜日～金曜日（祝日も営業しています）  
※ただし12月31日～1月3日は除く

お問い合わせ先  
TEL 0875-63-3700  
（担当者：西山・田邊）

### サービス提供時間

1日デイケア	9:30 ～ 15:40（6時間10分）	昼食有り	おやつ有り
午前ショートケア	9:00 ～ 12:10（3時間10分）	昼食有り	おやつ無し
午後ショートケア	13:00 ～ 16:10（3時間10分）	昼食無し	おやつ有り
ミニショートケア	9:30 ～ 11:30（1時間10分）	昼食無し	おやつ無し

## 橋本病院指定居宅介護支援事業所

### 「介護サービス情報公表システム」について

厚生労働省の「介護サービス情報公表システム」は、全国の介護サービス事業所のサービス内容などの詳細情報をインターネットで自由に検索・閲覧できるシステムです。

スマホ、PCでカンタン検索！！

介護 公表

検索



- 知りたい地域の介護サービス事業所をインターネット上でいつでも自由に探すことができます。
- 「介護事業所」に加え「地域包括支援センター」「生活支援サービス」等の生活関連情報をホームページでまとめて検索できます。
- 介護事業所の基礎データや特色がわかります。
- 複数の介護サービス事業所の基礎データを比較・検討できます。

～公表されている内容～

- 基本情報 名称 所在地、従業者に関するもの 提供サービスの内容 利用料等 法人情報
- 運営情報 利用者の権利擁護の取組 サービスの質の確保の取組 相談・苦情等への対応 外部機関等との連携 適切な事業運営・管理の体制 安全・衛生管理等の体制 その他（従業者の研修の状況等）

## 院内感染防止対策委員会

### 冬の感染症について

#### インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによって引き起こされる感染症です。典型的な症状は突如の発症、38℃以上の高熱、咳や関節痛、喉の痛み、鼻水などがあります。

流行時期は例年12月～3月下旬となっています。高齢の方、持病を持つ方、妊婦、乳幼児がインフルエンザにかかると、気管支炎や肺炎を併発し、重症化すると最悪の場合死に至る事もあります。インフルエンザ流行前の予防と流行時期には感染しないように日常生活でも注意していきましょう。



#### 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌などが胃腸内に感染することで起こる疾患です。多くは食品や汚染された水から感染しますが、人やペットとの接触により感染することもあります。原因となるウイルスの中でも多いのがノロウイルスで、感染力も強く、特に注意が必要です。

ノロウイルスの潜伏期間は1～2日程度で、症状としては吐き気、嘔吐、下痢です。通常は2～3日でよくなりますが、高齢者や幼児、病弱な人は、重症化することもあるため、注意が必要です。



#### 予防方法

インフルエンザの最も有効な予防方法はワクチン接種です。発症を防ぐとともに、発症した場合も重症化を防ぐことができます。コロナウイルスやノロウイルスには有効なワクチンはありません。その為インフルエンザと共通して、手洗いやマスクの着用を徹底しましょう。また規則正しい生活を送るといった基本的な感染予防を心がけることが大切です。二次感染を防ぐために、感染した人が使ったタオルなどを共用しないように気をつけましょう。



## 防火防災委員会

### ハザードマップの活用

ハザードマップは被害予測地図とも言われ、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したものです。予測される災害の発生地点、被害の拡大範囲および被害程度、さらには避難経路、避難場所などの情報が既存の地図上に図示されています。予め自分の住んでいる所周辺を確認し備えましょう。



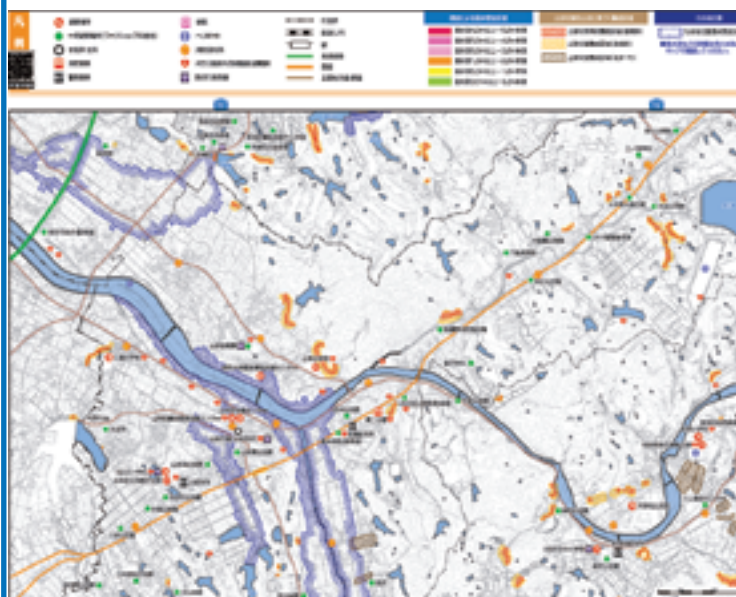
#### 避難時の注意点

新型コロナウイルス感染症が蔓延する状況において災害が発生し、避難する場合は感染症対策に万全を期することが重要です。避難場所など密集した環境下での集団生活によりノロウイルス等による感染症胃腸炎やインフルエンザ、新型コロナウイルスなどの感染が拡大するリスクが高まります。

- ・手洗い、咳エチケット等の基本的な対策の徹底（マスク、アルコール消毒液、体温計など）
- ・十分な換気の実施、スペースの確保など（3つの密、密閉・密接・密集を避けましょう）

#### 橋本病院周辺で地震が発生した時のハザードマップ

スマートフォンやパソコンで「三豊市総合防災マップ」と検索すると見ることができます。



## かがわ介護王座決定戦

### 第7回 かがわ介護王座決定戦（介護技術コンテスト）に出場しました！

介護王座決定戦とは、香川県内の介護職員の方々が、優れた介護技術を競い合うものです。利用者の方により良い介護を提供するための介護技術の研鑽の場であるとともに、多くの方にプロの介護技術を広く知っていただき、介護の仕事への理解を深めていただくことを目的として香川県主催により実施されています。

開催日 令和2年11月11日（水）

開催場所 サンメッセ香川

内容 1チーム3名で参加し、各チームの1名が入浴「食事」「排泄」の3部門に出場して、課題に基づき、日頃鍛錬された介護技術を披露します。今回は9チーム27名が出場しました。



#### 新人賞受賞の介護職員から一言

少し緊張しましたが、普段から行っている事や練習してきた事を活かして、自分らしく実技を行う事ができました。介護王座決定戦に出場して自分が気をつけなければいけないことや、声掛けの方法で大切な事を学びました。そして、他施設の方が行っている実技を見て学ぶことができました。この経験を活かして、より良い介護ができるように役立てたいと思いました。ありがとうございました。



「チームはしもと」として、介護職3名で出場しました。今回4回目の出場となり、多くのギャラリーがいる中、慣れない場での実践はとても緊張しましたが、患者様の立場を考えながら実技を行うことができました。

今回は経験年数が2年目の介護職も出場し『新人賞』をいただきました。この経験を活かし、今後もより良い介護ができるように尽力していきたいと思えます。



## オンラインセミナー（web研修会）

コロナウイルス感染症の影響により、外部で行う研修会が開催されない状況にあります。当院では情報収集や自己研鑽のため、様々なオンラインでの研修会に参加しています。

「新型コロナウイルス感染症対応力向上研修会」2020年9月15日（火）13:30～15:00

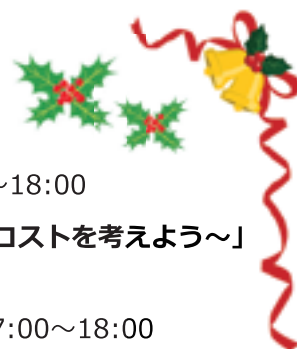
「第1回リモート症例検討会 回復期リハ病棟におけるOT」2020年9月18日（金）16:00～18:00

「“栄養”の力で病院経営を骨太にするセミナー！～目先のコスト削減ではなく、トータルコストを考えよう～」  
ネスレオンラインセミナー 2020年9月26日（土）13:00～15:40

「災害時の感染症対策～新型コロナウイルス感染症を含めた～」2020年10月2日（金）17:00～18:00

「院内感染対策講習会」2020年10月 YouTube配信

「医療放射線安全管理講習会」2020年10月25日（日）10:00～16:00



## 地域連携部

2013年12月1日から実施している**事前訪問**（当院転院前に患者様が入院されている病院へ直接訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等を実施）の2020年9月～10月の回復期リハ病棟の実績を紹介します。

- 1ヶ月の訪問件数：9月【37件】、10月【37件】
- 入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの平均日数：9月【4.0日】、10月【5.7日】
- 紹介状が届いて当院へ転院されるまでの平均日数：9月【10.7日】、10月【12.7日】

※事前訪問後、当院へ転院されるまでの平均日数は7.0日です。**大変お待たせして申し訳ございません。**

### 対象となる方

1. 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態。高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷。
2. 多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後。
3. 外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後から2ヶ月以内。
4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後。
5. 股関節又は膝関節の置換術後の状態。



### リハビリは 365日、1日3時間

提供させていただきます。  
また、多職種によるチーム医療で、早期に退院できるように取り組んでいます。

### 入院相談はお気軽にご連絡ください！

橋本病院 地域連携部

窓口：大西 宏美

電話：0875-63-3552（直通）  
0875-63-3311（代表）



認知症治療病棟への入院相談もお伺いしております。お気軽にご連絡ください。



### 移動も安心のサービス

転院の際の無料送迎をしております。  
ご希望の方はお気軽にお申し出ください。



## 紹介実績（地域連携部）

いつもご紹介いただき、また患者様・家族様には当院をお選びいただきありがとうございます。

地域連携部では、主に紹介患者様の入院受け入れを行っています。ご紹介いただいた病院と、患者様の情報のやりとりや、転院日の調整を行っています。

下表は、回復期リハビリテーション病棟と認知症治療病棟へご紹介いただいた年別の件数をあらわしています。各疾患において徐々に増加しており、2015年と2019年を比較してみると、脳血管疾患で+17件、運動器疾患で+23件、廃用症候群で+4件、認知症で+4件となっており、5年間で合計約50件ほど増加しています。改めて地域における橋本病院への期待の大きさと、それに伴う責任を感じております。

単位 (件)	回復期リハビリテーション病棟			認知症治療病棟	合計
	脳血管疾患等	運動器疾患	廃用症候群	認知症	
2015年	170	138	17	21	346
2016年	168	138	22	22	350
2017年	167	161	10	23	361
2018年	176	166	25	14	381
2019年	187	161	21	25	394

当院では、患者様・ご家族様に安心して入院していただくために、転院前に紹介元の病院（患者様）へ訪問し、患者様やご家族様に入院の案内や説明を行っています。近隣の病院であれば、転院の際、お迎えも行っています。入院のご相談があればお気軽にご連絡ください。



## 病院実績

### 回復期リハビリテーション病棟 合計89床（1病棟29床、2病棟60床） 2020年度 前期 実績

年月	平均入院患者数 (人)		平均在院日数 (日)		在宅復帰率 (%)		発症から入院までの平均日数 (日)					実績指数	
	1病棟 (29床)	2病棟 (60床)	1病棟 (29床)	2病棟 (60床)	1病棟 (29床)	2病棟 (60床)	脳血管		運動器		廃用 症候群	1ヶ月	6ヶ月
							180日	150日	90日	60日			
4月	29.0	59.9	68	79	78.8	89.0	44	34	31	-	41	51	51
5月	28.9	59.6	67	76	81.8	86.3	41	29	26	-	-	55	50
6月	29.0	59.7	73	73	83.9	81.9	33	45	24	20	-	48	49
7月	28.6	60.0	80	83	83.9	82.4	39	17	29	-	34	47	50
8月	28.9	58.8	85	88	83.6	85.1	25	22	17	-	51	50	51
9月	28.4	59.3	78	94	84.9	84.4	64	32	24	27	37	45	49

## 第1回リモート症例検討会

2020年10月9日（金）に東京から日本作業療法士協会の中村春基会長をwebにてお招きし、ZOOMを使っての第1回リモート症例検討会を行いました。参加者は、大阪の千里リハビリテーション病院、橋本病院の医師と作業療法士、理学療法士、看護師です。

今回の試みは、入院された患者様に対し、より良いリハビリテーションを提供できるようにする事が目的です。作業療法士が日々の臨床における課題やアプローチ方法について説明し、それに対するご意見、ご指導をいただき臨床に繋げていきます。中村会長からは、身体機能評価をしっかりと行うこと、リハビリ内容の質と量を考えながら行っていくことの重要性についてご指導いただきました。

新型コロナウイルスの影響から新しい生活様式に対応するためwebでの開催となりましたが、大変貴重な時間となりました。今後も日々の臨床を振り返りながら、患者様により良いリハビリを提供できるよう取り組んでいく予定です。



医療法人社団和風会 橋本病院  
〒768-0103  
香川県三豊市山本町財田西902番地1  
TEL : 0875-63-3311  
FAX : 0875-63-2651  
入院相談直通電話 : 0875-63-3552  
E-mail : hashimoto-hp@wafukai-hashimoto.jp  
HP : <http://www.wafukai-hashimoto.jp>  
発行元 : 橋本病院 広報委員会

医療 回復期リハビリテーション病棟 89床  
認知症治療病棟 67床

介護 橋本病院指定居宅介護支援事業所  
通所リハビリテーションセンターはしもと  
訪問リハビリテーションセンターはしもと

